

CFCCの使用実績 軽量および低線膨張係数を生かした適用

屋内プール棟建築時の大屋根変形防止ケーブル

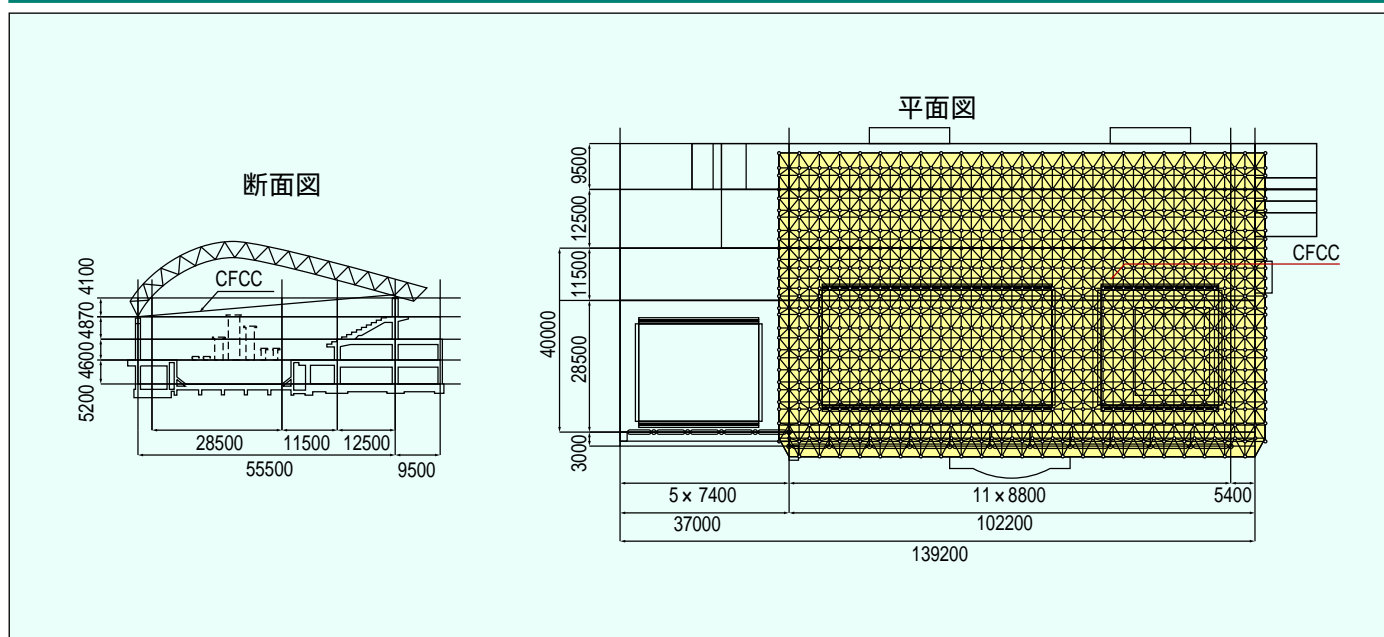
三重県営鈴鹿スポーツガーデン屋内プール棟建築工事の際の屋根スライド工法(横引工法)において、大屋根(大梁)変形防止ケーブルとしてCFCCが適用されました。

軽量で取り扱いやすく、防錆油不要で屋内部を汚さない、また、温度変化によるケーブルの伸び・縮みが少ない(線膨張係数が小さい)ため、屋根を支える壁によけいな力が作用しない等の特性が活かされました。

発注者	三重県
所在地	三重県
規模	対象架構: バン55.5m×桁行102.2m(メインプール) スパン40m×桁行37m(サブプール) 架構分割2ブロック(メインプール) 5ブロック(サブプール)
使用材料	CFCC 1×19 28 (メインプール)11本 CFCC 1×7 12.5 (サブプール)5本 CFCC U 4.2
補強材用途	トラス大梁の変形防止用ケーブル 床補強筋
竣工	1997年4月



構造図



< ACCカタログより >

